



号外

平成24年6月20日発行

「社会保障と税の 一体改革について」 —さいとう健の考え—

昭和34年、小さな写真屋に生まれる。
 大学時代は、ハンドボール部のキャプテンとして活躍。
 零細企業に育ったこともあり、中小企業を担当する通商産業省に入省。
 日米交渉や行政改革、地方行政(埼玉県副知事に外向)などに携わる。
 平成18年衆議院千葉七区補欠選挙にて公募により選ばれるも、惜敗。
 平成21年衆議院総選挙において、比例南関東ブロックで初当選。
 現在、党政務調査会会長補佐・シャドウキャビネット(影の内閣)の
 総理補佐官として活動中。
 [趣味] 読書、カラオケ、ハンドボール
 [好きな食べ物] ラーメン、焼肉(特にカルビとハラミ)

さいとう健 後援会事務所(千葉銀行おたかの森支店裏)

〒270-0137 流山市市野谷665-40-103

TEL: 04-7157-6223 FAX: 04-7157-6224

E-mail : info@saito-ken.jp

さいとう健 国会事務所

〒100-8981

千代田区永田町2-2-1衆議院第一議員会館822号室

TEL: 03-3508-7221 FAX: 03-3508-3221

苦渋の選択でした。

消費税の増税なんて、政治家であるならば、できることならやりたくない。

特に、さいとう健は選挙が弱いんだから。

今回、自民党が消費税増税に反対すればつぶすことはできたでしょう。

でも、そうすると、今度はわが党が政権を取り戻したときに民主党が反対して、また通らないということになる。

そんなことを繰り返して、この国は本当にいいのか。

やはり、今回決着をさせておかねばならないのではないか。

遅れば遅れるほど、子供たちの負担はその分大きくなるわけですし、世界のマーケット関係者の見る目も怖い。

でも、苦しい選択でした。

それで、さいとう健は、二つの前提が成り立つのならばということで、賛成する腹をくりました。一つは、社会保障改革の中身をしっかりしたものにする。そして、それができなければ、増税しないこと。

それにしても、今の政府の提案には、問題が多すぎる。

最低保障年金に代表されるように、本人の努力の有無にかかわらずばらまくというものが多すぎる。

これでは、またすぐに増税となってしまう。

ここをきちっと正す。キーワードは、「持続可能性」。

幸い、国民会議を作って、社会保障の在り方についてきちっとした議論をするということなので、そこで展開される議論に、とりあえず賭けることとしました。

いいものができなければ、増税を停止・延期することもありうるということ。

二つ目の前提は、デフレ下での増税は本当に危険なので、景気状況によって増税を停止する措置を取ること。

実際に過去痛い目に会ってます。

97年に、消費税を3%から5%に上げるときも、所得税の先行減税を実施して念には念を入れたものの、アジア金融危機の発生等々により、景気の腰折れを招きました。

今回も、この点は慎重に対応すべきです。

そこで、実際に消費税を上げる半年前に、時の政権が経済状況を精査して税率引き上げの最終判断をするということとしました。

この点については、石原幹事長は、雨が降ったら運動会を中止するのと同じだと明言しました。

合わせて、公務員人件費の削減や国会議員の定数是正といった身を切る努力も、国民会議の結論が出るまでには決着をさせねばなりません。

政治家は、庶民の痛みがわからないという声を多く聞きます。

しかしながら、今この問題を処理しておかないと、将来私は、もっと大きな痛みとなって跳ね返ってくると確信しています。今やるしかありません。

これが皆のためだと、信念をもって決心した以上は、たとえ本件が原因で落選するとしても前に進んでいく。

今、そういう心境であります。

コラム 消費税議論のあり方について

さいとう健の主張が朝日新聞に載りました。

自民党「影の内閣」の総理補佐官として谷垣氏を支える齋藤健・衆院議員は最近、支持者らに訴えている。

野田政権の掲げる消費増税については「本来わが党は、積極的に協力するのが筋だ」と。ここまで財政赤字をふくらませてきたのは、理由はあるにせよ、自民党政権であったのだから――。

齋藤氏は経済産業省出身、当選1回ながら論客として知られる。衆院予算委員会で民主党政権の非を打ち鳴らす質問を重ね、緩急の利いた舌鋒がラップに加工作されてネット上で話題になったほどだ（「齋藤健」と「言っちゃった」で検索できる）。

その齋藤氏がいま協力を唱える。戦前、政友会、民政党の2大政党は足の引張り合いに明け暮れたあげく、「維新」を唱える軍部などの勢力にとって代わられた。痛恨の歴史が、いまの政治状況にびったり重なるからだという。

自民、民主両党が激しく政策論争をするのはいが、つまらない揚げ足取りはやめる。現状を「一定の節度ある二大政党制」につくりかえるために、齋藤氏が提案するのは「休戦ゾーン」の設定である。

例えば社会保障、とりわけ年金などは、政権が代わるたびに制度が変わったのでは国民が迷惑する。こうした分野では各党はいたずらに敵対するのではなく、与党も野党もなく協力して合意づくりに取り組む。

同じような発想はこれまでもあったが、今こそ真剣に試みられるべき手法だろう。

「一たび改革で話し合いを一つのステップにして、「ねじれ」の困難を越え、決められない政治を脱し、政党政治の新しい秩序をつくれぬか。齋藤氏はそう考える。

（平成二十四年五月二十日朝刊より抜粋）

大受け! さいとう健の直球質問!!

さいとう健のあげ足を取らない直球正論の国会質問が注目を集めています。全国中継される委員会だけでなく、放映されない委員会質問にもネットユーザーの関心を引いています。冒頭、直球予告をしてから鋭い質問に、各閣僚もフルスイングで回答。新人さいとう健と政府与党との白熱した議論が話題を呼び、各ネット動画政治部門で次々にランクイン。インターネットから全ての質問がご覧になれますので、ぜひ皆様一度ご観戦ください。

- 1、インターネットで「衆議院TV」を検索。
- 2、発言者名に「齋藤健」を入力。（漢字表記に注意）
- 3、さいとう健は当選してから本日まですでに**29回**も質問に立っておりますが、その全てがご視聴になれます。

【おすすめ】
 平成24年2月1日予算委員会 / 平成22年11月9日予算委員会
 平成24年3月6日財務金融委員会 / 平成23年2月3日予算委員会

◆ニコニコ動画はこちら◆

H24/03/06 衆院財政金融委・齋藤健【政権取り戻したら全部やり直します！】
(61分14秒) <http://www.nicovideo.jp/watch/sm17170858>



「国会見学」のご案内
 さいとう健は、時間の許す限り、国会議事堂内を一緒に案内いたします。何名様でも結構です。お問い合わせは後援会事務所まで。



「ミニ集会」のご案内
 さいとう健は、皆様とひざをつき合せて意見交換ができるミニ集会を、活動の原点としております。二人でも三人でも結構ですので、ぜひ企画してお呼びいただければ幸いです。

メルマガさいとう健
 名前・住所の登録不要。
 月刊さいとう健では伝えきれない内容満載。
 返信すれば匿名で意見を伝えられます。
<http://www.saito-ken.jp/info/melmaga.html>



やっぱり、この男に!

討議資料